

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2024 年報告書

学校名・施設名等 出雲西高等学校インターアクトクラブ

担当者名 顧問 新田 篤生

対象河川名 神戸川 実施時期 夏・秋

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 高校1・2年生 〔参加者数〕 夏調査 8人・秋調査 10人

【夏の調査】 2024.7.20（土） 〈天気〉曇 〈気温〉28.0℃ 〈水温〉22.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類7 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ類5、カワニナ類・コガタシマトビケラ類2、ナガレトビケラ類・オオシマトビケラ・ヒラタドROMシ類1、タニガワカゲロウ11、ニンギョウトビケラ・キイロカワカゲロウ2、ヒゲナガカワトビケラ・コカゲロウ類1 他

〈水辺の様子〉7月の調査としては、気温・水温が低い状態での調査となった。CDDパックテストや透視度調査、水生生物調査を行った。例年よりも水生生物の数が少なかった。透視度調査は、測定値100cm以上であった。



(COD パックテスト 4mg/L、pH7)

【秋の調査】 2024.9.14（土） 〈天気〉晴 〈気温〉33.0℃ 〈水温〉31.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類14 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ類6、ヒラタドROMシ類3、コオニヤンマ2、カワニナ類・シマイシビル1、タニガワカゲロウ17、チラカゲロウ5、カワムツ27、ヒゲナガカワトビケラ1、ヌマエビ14、サナエトンボヤゴ3、ヒラテテナガエビ1 他

〈水辺の様子〉9月の調査は水生生物の数が少ないと思っていたが、気温や水温が高く、1回目の調査よりもたくさんの水生生物がいた。透視度調査は、測定値100cm以上であった。



(COD パックテスト 4mg/L、pH7)

子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

夏 ○普段は、川を見ただ目で「きれい」「汚い」と判断しているが、調査し、データから判断することにより、より深く川の水質等の状況を知ることができ、とても勉強になった。神戸川は「きれいな水」であることが分かった。また調査に参加したいと思った。

○初めて調査に参加する生徒達もいたため、調査をすることが川の水質や環境等を考える良いきっかけになったと思う。これからも継続して調査をしていきたい。

秋 ○今回の調査は7月に実施した時よりも気温・水温が高かったためか、水生生物の数は多く、透視度調査は100cm以上と、とてもきれいな状態だった。

○網で川の中をすくってみると、様々な水生生物を捕まえることができた。また、石の下をみると、網ではすくえなかったとても細かい水生生物を見ることができた。調査をすることで、川の状況を直接感じることもできたので、とても良かった。

成果発表会 ○自分達の取り組みをたくさんの方に知っていただけたことと、小学生の発表を聞いたことがとても良かったし、勉強になった。